

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：

授業の概要	
授業日時・学年・教科・単元名等	
授業日時：平成 25 年 6 月 日 時間目	
学 年： 1年	教科： 国語
単元名： 「 ダイコンは大きな根？」	
I C T支援員によるサポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業中 <input type="checkbox"/> 事前	
単元・題材の目標	
「ダイコンは大きな根？」 説明文の構成を理解する。	
単元全体の流れ	
1、題名から本文内容を想像し、興味と関心を持つ。 2、形式段落に分け、本文の内容を理解する。 3 本文の内容を理解した上で、文章全体の構成・役割を考える。	
本時の中心となる授業形態	
<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習	
本時の目標（評価の観点）	
単元の教材内容に関心を持つ。	

情報通信技術の活用	
活用した場面	
<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用した者	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 生徒	
活用する目的	
<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 興味・関心の創出 <input type="checkbox"/> 目的や目当ての明確化 <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 生徒による説明 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 典型例の提示 <input type="checkbox"/> 創作活動 <input type="checkbox"/> 失敗例の振り返り <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 生徒同士の教え合い <input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用したコンテンツ	
デジタル教科書	
活用した機器	
<input checked="" type="checkbox"/> I W B <input type="checkbox"/> タブレット P C <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

※情報通信技術の活用のうち、本時におけるポイントとなる活用について主なものを回答すること。

1. 本時の展開

学習の流れと子どもの活動	指導・支援のポイント	使用した機器やコンテンツ
<ul style="list-style-type: none"> ・野菜は、植物であることを確認する。 ・具体的に野菜はどの器官を食べているか考える。 ・電子黒板で、課題に取り組み発表する。 ・電子黒板で、文章の役割について取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、課題に興味・関心を持って取り組んでいるか確認する。 ・しっかりと考えているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・デジタル教科書

<協働学習の実施状況>

- 生徒が相互に教え合う場面があった 数名が一緒に学び合う場面があった
 数名が協力したり助け合ったりする場面があった 数名が話し合う場面があった
 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった
 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった
 ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

(1) 活用のねらい

新しい単元の導入場面で、生徒に興味・関心を持たせることをねらいとして活用。

(2) 活用により期待される効果

デジタル教科書の課題を使うことで、単元により深い興味・関心を持たせることになる。

3. 実践上の課題 c

全体的に、意欲的に取り組むクラスであるが、発表となると一部の生徒だけが目立ち、その他は消極的になってしまうのが課題。

※本報告は、2頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、Webでの公開など広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。